

沖縄の地域資源の活用・沖縄生まれのおすすめ商品

沖縄の塩とハーブの力で 清涼飲料水「口腔ケア商品」を開発

がらがらっぺ。

活用した地域資源

ハイビスカス、薬用作物（月桃）、沖縄の塩

事業概要

沖縄で風邪というピンとこない本土の人も多いが、インフルエンザや夏風邪など毎年予防の警告がよく出る。有限会社 月桃茶家ではその現状を解消すべく予防の為に「口腔ケア商品」を開発した。



農業生産法人有限会社 月桃茶家
商品開発営業 古堅 勤さん

生産者インタビュー

今回開発された

清涼飲料水「がらがらっぺ」について
お聞かせください。

沖縄の海水塩、ローゼル、リコリス、月桃を使用し、お口の清掃・清涼用に開発しました。口腔ケア自体認知度が低いのですが、口腔内環境を正常に保つことで色々な病気のリスク低減が図られることが学会などで報告されています。

がらがらっぺ開発のきっかけは？

厚生労働省も唱えているように、かぜ予防の基本は、手洗い、うがいです。しかしながら、何でどのようがいをすれば予防をできるのか？色々な情報を収集していく中で、

空気が乾燥しているときは、うがいをしたり、こまめに水分を取るなどして、のどの水分補給につとめる。
痰などが絡んでいるときは、うがいで痰をとりのぞき、本来の潤いをとりもどすことにつとめる。

のどの異物（落ちてきた鼻水・花粉）があるときは、うがいで洗い流す。
*異物があると細菌が付着し炎症をおこす。と



いう事が確認できました。そこで、化学成分ではなく、自然素材を活用することで、飲む事でもでき、体液と同じ浸透圧（生理食塩水）で、のどの潤いを保つことができる液体を作りたい...そんな思いからです。

がらがらっぺはどのようなものですか？

ハーブティーで良く知られる月桃やローゼル、リコリスそして沖縄の海水塩を使用し作られています。一般に殺菌作用があるといわれている植物と海水塩を使用し、全て体に優しい素材で作っています。「沖縄の塩とハーブの力」といったところでしょうか。

開発の苦労をお聞かせください。

そもそも、うがいができる飲料として開発を進めてきたのですが、「薬事法制上「うがい文言」が医薬品、医薬部外品にしか使用が認められていない」ということで、紆余曲折をして、お口の清掃・清涼用に開発された清涼飲料水となったことと、また、商品は確かな物ですが、習慣化しないと口腔環境向上が持続できませんから、使いやすく、低コストを目指したことです。

これからの展開をお聞かせください？

かぜ予防、口腔ケアの重要性を紙芝居、歌などを通して県内の幼稚園、保育園、小学校へ啓蒙していきたい。病は気から：まずはできることを...予防医学の基本ではないでしょうか？

近年医療負担の増加で病気にかけられない為の予防が注目されているが、この「がらがらっぺ」の習慣化は正に風邪の予防として注目されるだろう。



農業生産法人有限会社 月桃茶家
〒901-2422 沖縄県中城村新垣1354-5
TEL 098-895-5004 FAX 098-895-3082
http://www.garagarappe.com/